

施設名	指定管理者名	評価	評価内容
汲沢地域ケアプラザ	(福)横浜博萌会	A	<p>(地域活動・交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度より生活支援コーディネーターが配置となり、日頃の情報共有体制の強化や、5職種会議の実施、部門会議や課題会議など様々な視点からの共有・連携を通じて地域支援につなげています。 ・エリア内の複数の各地区ハートプランに根差した地域支援に取り組んでいます。あわせて、地域の取組ともリンクして、地域ケアプラザの事業を実施しています。 ・地域の動きや声をよく聴き、地域ケアプラザでは何ができるのかを常に意識して、地域の主体性を大事に地域の力を引き出すよう働きかけていることが、とつかハートプランや地域福祉のネットワーク構築等に大きな役割を果たしています。また、介護支援事業所や介護支援専門員などとも協力し地域のニーズ把握にも取り組んでいます。引き続き、この基本姿勢を大切にしながら事業展開や地域支援を実施して下さるよう、お願いいたします。 ・汲沢地域ケアプラザの施設特性を生かし、図書コーナーの充実にも力を入れ、地域からも好評です。 ・自主企画事業では、参加者のニーズを分析しながら改善を図り、実施しています。 ・ボランティアの希望者が少なくなっている中、担い手の育成を目指して、職業体験などの事業にボランティア以外にも学校等から積極的に受け入れています。

		<p>(地域包括支援センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防ケアマネジメントについては、地域のインフォーマルサービスを把握し、ケアマネジメントに活用し、さらに委託先のケアマネジャーにも紹介するなど、利用者の目的にそった支援が来ています。 ・個別地域ケア会議で検討された内容を一般化し地区民生委員・児童委員協議会で報告している。 ・元気づくりステーションは圏域内に4か所あり、区内でも多く立ち上げており、住民の身近な場所で介護予防に取り組める環境整備に取り組んでいます。また、各ステーションのリーダーの集まり開催や、ボランティアに対しても研修を行ったり、新規ボランティアを区の研修につなげ、地域の介護予防人材育成も積極的に行っています。 ・圏域の老人クラブや区認知症キャラバンメイト連絡会が主催する「認知症フォーラム」において、認知症サポーター養成講座を実施し認知症の普及啓発を行いました。 ・生活支援コーディネーターと連携し、地域の見守り活動等に参加し、地域情報収集や地域包括支援センター周知を行い、地域状況の把握に努めました。 ・地域ケアプラザ5職種で地区情報の共有などを行い、地域ケア会議を開催しました。 <p>(生活支援体制整備事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケアプラザエリア内の地区毎の特性にあわせ、地域と地域ケアプラザの役割を踏まえて進めている点を評価しています。 ・「地域活動ガイドブック」や地域活動紹介のパネルを活用し、地域の主体性を引き出しながら、各地区の活動を支援しました。 ・協議体を開催し、事業の説明と各地区の情報交換や意見交換を行いました。 ・「ニーズカード」を活用しニーズの把握を行い、結果を地区の活動に反映させました。
--	--	---